

博多は、生きている博物館

福岡県 福岡市

ハカタ・リバイバル・プラン



1 社会資本の概要

福岡市博多区の石堂川と博多川に挟まれた地域は博多大津と呼ばれ、海外交易をする海商(海の商人)の町として古くから栄えてきました。この博多部には700年以上前に建設された城郭的町割りが現在も残っており、町割りの基軸線となっているのが現在の「大博通り」です。大博通りは博多駅と博多港を結ぶ車線数8車線の大通りで、人々が行き交う歩道には「大博通り歴史の散歩道」として、弥生時代から近代までの博多の歴史を紹介するモニュメントが20カ所程設置されています。大博通りと交差する筋には築100年を超える博多町家がいくつか残っており、かつての博多部の町並みを現代に伝えています。



博多駅から大博通りを望む



博多100年町家の店

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

博多には、アマテラスが生まれたという海岸が記紀に記載があり、以来二千年に及ぶ連続した歴史があります。この歴史という宝の山を地域アイデンティティの確立と、郷土愛の醸成に役立てない手はないという思いから現在も旧博多部に残る中世パリ・ロンドンと同時期に建設された約1km四方の城郭的町割り(シテ=City)をそのまま、博物館に見立て、この貴重な町割りの保存・活用を図り、老・壮・青・幼 全ての年代に24時間いつでも見られる電柱に歴史案内看板をキャプションとして設置すると

もに、地域住民による「語り部会」の開催、また町割りの基軸線となる大博通りの町割りを解説しながらのECO清掃活動を地域住民と共に実施しながら、エコ・ミュゼの手法で郷土の歴史を展示することにしたのです。また、博多の歴史をアートで可視化する試みとしてハカタ・アート・ミュージアム・プロジェクトを立上げ、博多の四季の祭りを描いた絵画や、幻の博多しぼりや博多人形(民俗工芸)の展示、博多の文豪夢野久作の展示を美術館で開催しています。



電柱の歴史案内看板



語り部会



大博通りでのECO清掃活動

3 活動の成果や波及効果等

エコ・ミュゼのコアとなる築百二十年の博多町家で、博多の2000年に及ぶ連続した古代史から近現代史までを語る「語り部会」を毎月1回、これまで166回開催しています。その内容・成果は、電柱歴史案内キャプションに反映され『はかた博物館』の重要な柱として、現在までに124本の歴史案内看板を設置しています。多くの旅行者、一般の方へボランティアによる博多案内に活用されるとともに、近隣の小・中・高校へ「博多の歴史の出前授業」や市内各所の公民館での講話も行っています。また地域住民・留学生・企業のCSRボランティアと共に月1回の清掃活動「大博通りクリーンアップECO大作戦」では、博多のおもしろ歴史と人物の「ゆかりの道」を知れることから、年間300人を超える参加があります。博多二千年の連続した歴史のその中には世界的な出来事、日本史的出来事、そして郷土史的民俗的な出来事が夥しく堆積しているその事象が起きた場所を特定し、単に郷土史的なものではなく、工学や医学などアカデミックな学際的な視野で歴史を綴り、世代を問わず、歴史に興味のない層にも、博多の歴史を公道上で、24時間・365日語りかけ続けています。



歴史案内看板



語り部会での「講話」



清掃活動と歴史的解説

●所在地

●活動主体及び連絡先

●対象となる社会資本

旧博多部を中心とした福岡市内
ハカタ・リバイバル・プラン
(092-281-4008 info@hakata8museum.com)
中世のロンドン、パリと同時期(740年前)に成立したシテ(=City)と称される城郭都市としての都市計画がそのまま遺る『旧博多の町割り』



喜びの声



受賞者

ハカタ・リバイバル・プラン
会長
立石 武泰

コメント

博多には2000年の歴史の堆積がある。これらを掘り起こして、皆さんに知ってもらい、地域アイデンティティの確立と郷土愛の醸成に資する活動、次世代の子どもや孫へと、ずっと継続していく活動になればと願っています。今回の国土交通省手づくり郷土賞認定はハカタ・リバイバル・プランの会員にとって活動の大きな励みとなります。

活動の内容

- 電柱歴史案内看板設置(目標2,000本)
- 語り部会(博多の現在・過去・未来を語る)
- 大博通りクリーンアップECO大作戦(博多のメインストリートを清掃しながら博多の町割りを解説)
- 小・中・高・大学他へのアウトリーチ活動(出前授業)
- 大学等のアカデミーとの共同研究(川上音二郎 山笠 他)
- ハカタ・アート・ミュージアム展示活動

活動の経歴

- 平成 18 年 ハカタ・リバイバル・プラン設立
「はかた博物館プロジェクト」開始
- 平成 19 年 第1回語り部会開催、出前授業開始
- 平成 20 年 大学等のアカデミーとの共同研究開始
- 平成 21 年 電柱歴史案内設置活動開始
- 平成 22 年 大博通りクリーンアップECO大作戦開始
- 令和 2 年 手づくり郷土賞(地域活動部門)受賞